



中間考査とともに、師走突入。一般に、「日頃落ち着いている『師僧（=師匠である僧）』も忙しく走りまわる月」が由来だと聞いていますが、『日本書紀』などに和風月名と数字による月名が記されており、後の世に「シハス」という発音に「師走」という字を当てたようです。何はともあれ忙しい月、事故急増月刊とも耳にします。焦らず、慌てず、気を引き締めて1年を締めくくりましょう。また、中間考査明け全校集会で、校長先生から、2008年ノーベル化学賞を「緑色蛍光タンパク質 GFP の発見と開発」で受賞された、下村脩博士の「大切なのは最初に出会った難問を解決することだ。もし一度諦めてしまえば、たぶん次も諦めてしまうことになる。」という研究姿勢を範として、『結果』を見て、自分の『強み』『弱み』を分析しよう。『弱み』は放置しない。今日帰ったら早速、『弱点』を洗い出して補強しよう。」とお話して頂きました。この熱い思いが伝わって欲しいと願っています。

教育勅語謹書

毎年10月30日を本校では『家庭に感謝する日』としています。本年度は休日だったため、29日に行いました。取り組みの内容は、日ごろなかなか口にできない『家族への感謝の気持ち』を作文にしたため、改めて家族の大切さを噛み締めることができたようです。また、教育勅語の謹書も行いました。まずは教育勅語の背景や意味を確認し、静寂の中、一文字ずつ気持ちを込めて筆ペンを用いて書き上げました。



第3回実力テスト・2学期中間考査

11月2日にベネッセの記述模試が行われました。試験範囲は中学に入学してこれまでに学習してきた内容でした。4月に行われたマーク式とは違い、試験範囲も広く問題自体のレベルも上がり、記述式ですので自らの考えを述べたり途中式を記したりと試験時間に追われる人もいました。また、11月30日から3日間に渡り2学期中間考査が実施されました。点数が気になるころですが、休日の間に解けなかった問題を自ら調べ、解き直し、返却時の解説を聞き、自力で解けるようにしていきましょう。「失敗とは転ぶことではなく、そのまま起き上がらないこと」という名言を耳にしたことがあります。間違えたことを悔いるのではなく、次に出題されたときには確実に解けるようにしておくことが大切です。

心肺蘇生法講習

11月22日に伊勢消防署から6人の講師をお招きして心肺蘇生法講習がセミナーホールにて開かれました。昨年度に引き続き行われたものですが、忘れていた知識もあり、有事の際にどのような行動をとるべきなのか、救命の連鎖と市民の役割、救命処置の手順の確認をしていただきました。昨年は大声で周囲に対して助けを求めたり人工呼吸に対する抵抗がありましたが、今年度はしっかりと助けを呼び、自信を持って心臓マッサージや人工呼吸に取り組みました。



第4回英単語テスト

11月18日に英単語テストが行われました。先日、「高校を卒業するまでに少なくとも4500語から5000語の単語を覚えてほしい」という話を伺いました。現在、Web会議システム等を使い海外の講師や生徒とコミュニケーションをとっていますが、単語が分からず言いたいことが伝えられないなどの感想も聞いています。校内で取り組んでいる英単語テストで少しでも語彙力を高めていき、コミュニケーション能力の向上に繋げていきましょう。

平成28年度 第4回英単語テスト 満点者

A組 (93.6点)	B組 (98.4点)
池田伊織・市川愛倭・稲垣百音・尾崎開・北岡楓音・久米橋幹太・築山大智・野崎奈那子・樋口恵美・堀出萌絵・松本幸子・溝口愛実・箕田萌乃・宮本翔馬・森田真菜・山平祐華	浅野了・池田麗菜・井上遥人・井上黎・大井美生・落合慶亮・川添紗朱・久野綾香・小出聖・小林圭矢・坂田泰雅・佐藤彼方・下倉万季・須永帆香・田中沙都妃・谷口紗保・徳田唯・堀内もも・松長琢磨・三島瀬里香・箕田彩乃・村木萌香